

時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

こうがくねん む 2026 年 あきごう
高学年向け 秋号



発行：時津町立時津図書館



『世界のパン おいしい!たのしい!歴史と味をめぐる旅』
マリヤ・バーハレワ/文 アンナ・デスニツカヤ/絵
岡根谷 実里/訳（河出書房新社）

世界にはなんと6000種類以上のパンがあるそうです。小麦だけじゃなくて、イモ類から作られたパンもあります。世界の地域ごとに昔と今のパンの違いを説明してくれています。

レシピ付きのパンもあるので、家族と一緒に作って食べてみよう！

家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



『もりもりの出版社』

まはら 三桃、工藤 純子、廣嶋 玲子、菅野 雪虫、濱野 京子/著（講談社）

5年生の会社見学で、「森々館」という出版社を訪れたユリアと小春、陽向、夕凧、真吾たち。コスプレをしたお兄さんと白いワンピース姿のお姉さんに案内されて、旧館の中を見学をしていたけれど、不思議なことにまきこまれて…。

5人それぞれが主役のお話を、5人の人気作家さんが書いた物語です。



『図書館とねことゆうれいと』
レベッカ・ステッド/作 ウェンディ・マス/作
三原 泉/訳（偕成社）

偶然見つけた「青空ミニ図書館」で本をもたらってきたエヴァン。その本の貸出カードを見てみると、お父さんの名前が。しかも、その本はエヴァンが生まれる前に火事でなくなった町の図書館のものだった。図書館、そしてお父さんの謎をさぐるエヴァンがたどりついた答えとは？ニューヨークタイムズ紙のベストセラーに選ばれた注目の一冊。



『洞窟のなかの女王』
ジュリア・サルダ/作 寺木 菜穂/訳
（化学同人）

長女・フランカが夢でみた女王様を探して冒険に出かけたフランカ、カルメラ、トマシーマの三姉妹。

やっとたどり着いた洞窟には、意外な姿をした女王様がいて…。

ハロウィンの時期にピッタリな、ちょっぴり不思議な冒険の物語。

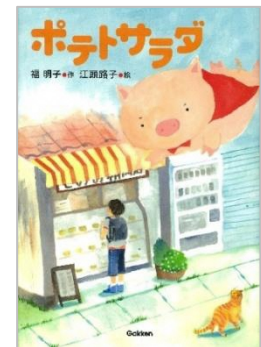


『見つけよう!ぼくの、わたしの、座右の銘
1人生 人はなぜ生きるのか?』

座右の銘研究会/監修（教育画劇）

座右の銘って知ってる？座右の銘とは、生きていく上で大切にすることば。

あなたはこれから何を大切に生きていきたいですか？この本を読んで考えてみよう！偉人たちの言葉がたくさんのもっているから、きっとあなたの座右の銘も見つかるはず！



『ポテトサラダ』
福 明子/作 江頭 路子/絵（学研）

ぼくは、ケイくんが商店街の肉屋さんにあげたブタのぬいぐるみの「トントン」。店先に吊り下がって、店を見守っているのさ。ケイくんの昔からの大好物は、ここのポテトサラダなんだ。でも、閉店のピンチが！それに、ケイくんまで大変なことになってしまっ…。

トントンはじっとしてられなくなり、ケイくんのところへと飛び出しました！